

第57号

http://www.nisshiren.com/

あ〜す・れっく

日資連界報

日本再生資源事業協同組合連合会
〒101-0061 千代田区三崎町2-21-1
TEL 03(3263)9101
発行人 上岡克己
編集人 森岡伸志
印刷 株式会社資源新報社

活発な事業提案も

日資連本部で第41回通常総会

日資連の第41回通常総会が、去る5月18日(土)、日資連本部会議室で開催されました。出席組合は委任状も含めて28組合あり、総会には星本昭次副会長(栃木県リサイクル協同組合連合会)を司会に、玉城栄功氏(沖縄県ゼロエミッション事業協同組合)を議長、藤田和秀氏(神奈川県資源回収商業協同組合)を副議長に進行し、提案されていた5議題を審議し、すべての議案が原案の通り可決、承認されました。

今回の総会では新年度の計画として、各委員長から、「日資連の新たな改革」が提言されました。委員長それぞれが各自の責任を追求しつつ、日資連一丸となって協力し、成し遂げることが不可欠となります。

また、来賓を代表して経済産業省産業技術環境局リサイクル推進課の渡邊厚夫課長から祝辞を頂き、日資連へのできるかぎりの助力が表明されました。

なお、新年度事業計画の課題を解決するための決意、更なる協力の要請は以下の通りです。

【新年度事業計画(抜粋)】

- 1、教育及び情報提供に関する事業
 - ① H.P.に最新情報を随時掲載する、② 情報発信のための研修会(講習会、講演会)の開催と、種々の情報提供を行う。
 - ③ 講習会、研修会
 - ④ 事業経営に関する講習会に専門家を招聘し、年2回開催する。
- 2、委員会(部会)事業
 - ① 制覇47特別委員会
 - ② 引き続き全国47都道府県加盟の達成に向け、誘

安定した組織運営を

会長 上岡 克己



本日はお忙しいなか、全力により支援活動を行ってまいりましたが、引き続き、源業界にプラス効果をもたらすまでこうした事態に對し一層の御協力をお願い申し上げます。

東日本大震災から2年が経過しました。これまでもこの厳しい事態に直向し、会員の皆様のご協力を仰いでお

国内循環への寄与に感謝

経済産業省産業技術環境局 渡邊 厚夫



国内の政権がかわりまして、アベノミクスによって、かなり雰囲気は明るくなってきたと感じます。金融緩和、財政政策、成長戦略等によって、来年はかなり明るくなるのかなと見ています。

ただ一方で、まだまだ全国の現場の方にはその実感が行きわたっていないというお話もありました。引き続き日本経済全体が向上するように、私も経済産業省の一人として頑張っていきたいと思っております。

プロジェクトが始動

課題解決に新たな取り組みで

2003年、日資連は内包する閉塞感を打破するため、「N」と冠したプロジェクトを立ち上げた。その前の一年間をかけたその方策を探り、計画に従って一年で実行する苦のプロジェクトは、一応の成果を2007年に得た。「認定制度」の発足である。

それと時を合わせるように、念願の経産省原局



森岡伸志

小型家電R法で講演会

100名超が参加、活発な質疑も

日直連では去る3月22日(金)、TKP赤坂ツインタワーにおいて、「経済産業省リサイクル推進課の担当者による「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」に関する講演会」を開催した。講師として、経産省産業技術環境局リサイクル推進課総括補佐の宮部勝弘氏をお招きした。

講演会は質疑応答を含めて約90分程行われたが、講演会終了後はリサイクル推進課の渡邊課長も駆け付けて1時間程、情報交換を行うなどして終了となった。

新ルールに課題も 適正競争が行える仕組みに

4月より施行された「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」についての講演会に参加した。

今年4月から施行予定となっていた「小型家電リサイクル法」についての講演会ということもあって関心が高く、100名超の出席を数えた。

「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」についての講演会に参加した。

日本は資源の少ない国だとわかっていて、資源を国外に出すのはもったいない。国外に出た資源が適正に処理されない場合、環境汚染や安全衛生上の障害を引き起こすという懸念もある。実際、海外の映像で、子供が素手で分別を行なう場面や、大気汚染、河川の汚染を伝えるニュースに怖さを感じた。

「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」についての講演会に参加した。

「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」についての講演会に参加した。

「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」についての講演会に参加した。



宮部勝弘総括補佐

「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」についての講演会に参加した。

ズまで破砕をかけ、精密な分別を行い、徹底した資源化が行われていた。我が国の最先端のリサイクルのクオリティの高さに改めて驚かされた。

「違法な不用品回収業者対策について」の話も非常に興味深いものがあつた。最近では昔の「チリ紙交換屋」以上に頻りに見られる機会がある「不用品無料回収車」。言葉の響きがいい。特に「無料」というところが排出者に高い訴求力となっている。

「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」の講演を聞き、私なりに整理してみた。

新制度に期待するもの 新たな商材の開拓となるか

経産省リサイクル推進課宮部勝弘氏による、小型家電リサイクル法等についての説明会に出席した。

粗大ごみで出され、破砕処理施設で鉄・アルミ等を回収した後に埋立処分されていた。あるいはスクラップに破砕された小型電子機器や家電4品目を混載して海外に輸出される。

環境対策では効果も 事業者認定取得などが課題に

去る3月22日(金)、日直連で主催した表題の説明会に参加した。我々回収業者にとっても、新規の取扱品目として注目されている小型家電リサイクルに関する説明会ということ、全国の日直連会員組合員が集まり、会場はほぼ満席といった状態だった。

引き取りから処分までの一連の工程に一定の要件を満たした事業者を廃棄物処理業者として認定し、廃棄物処理法上の廃棄物処理業者とみなされる。循環利用を高めようとするものだ。

「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」の講演を聞き、私なりに整理してみた。

「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」の講演を聞き、私なりに整理してみた。

採算性など課題も 十分な事前調査が必要か

「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」の講演を聞き、私なりに整理してみた。

「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」の講演を聞き、私なりに整理してみた。

「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」の講演を聞き、私なりに整理してみた。

「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」の講演を聞き、私なりに整理してみた。

段ボールのリサイクルは次世代の環境作り!!

循環型社会に最適な包装資材として今後ともリサイクルの推進・向上に努めます。

段ボールリサイクル協議会

リサイクルマークの普及促進中!!

資料問い合わせは事務局へ
詳細については段ボールリサイクル協議会のホームページ
(http://www.danrikyo.jp)で閲覧できます

東京都中央区銀座3-9-11 紙パルプ会館
(全国段ボール工業組合連合会内)
TEL03-3248-4853 FAX03-5550-2101

「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」の講演を聞き、私なりに整理してみた。

「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」の講演を聞き、私なりに整理してみた。

「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」の講演を聞き、私なりに整理してみた。

前項より
の不法投棄や環境汚染が
問題となっているのであ
れば、環境先進国として
日本が取り組まなければ
ならないゆゆしき問題だ
ただ、回収は自治体任せ
これまでの雑品よりは買
い取り価格は安くなる
(品目によっては逆有償
もあるだろう)のでは、
再資源化率向上につなが
るかどうかは少し疑問
だ。
いずれにしても、回収
業者としては、回収形態
を含めて自治体に提案を
して、積極的に小型家電
回収に参画すべく動いて
いく必要があると感じた。
説明会の後、交流会を兼
ねた懇親会が行われた。
講師の宮部課長も臨席
も図ることができ、有意
義な機会を頂いた。(K)

東資協 組合定款を改定し 持ち去り問題の対応強化で

東資協ではこのほど、
古紙持ち去り防止策の一
環として、今年度総会に
おいて組合定款の改正を
行った。具体的には、定
款第13条(除名)第1項
の(3)及び(5)の補
足項目として、古紙持ち
去り又は買取行為を行っ
た組合員に対する罰則規
約を新設している。新条
文は以下の通り。
(1)組合員の上記持ち
去り行為又は買取行為が
1回目であるとき
当該組合員に対し、警
告(持ち去り行為又は買
取行為の即時及び将来に
向かって停止)をするこ
とができる。警告書の
提出を求めたときは、そ
の後に開かれる理事会に
報告する。
(2)組合員が、上記
行為又は買取行為につ
いて、上記(1)の警告後
更に上記(2)に基づき
警告書の提出を求めたに
もかわらず、組合員が
更に持ち去り行為又は買
取行為を行ったときは、
理事会は定款第13条第1項
の(3)及び(5)に基
づき当該組合員の除名を
総会に求めることを決議
することができる。
(4)この場合、理事長
は、この除名した組合員
の氏名及び行った行為に
ついて組合機関紙及びホ
ムページに公表すること
ができる。

組織強化に努力し 埼資協理事長 福田 寛栄



この度、第55回通常総
会において、埼資協理事
長に就任致しました福田
寛栄でございます。
まずは、12年間という
永きにわたり、当組合活
動に大変ご尽力賜りまし
た前理事長細田様に心よ
り敬意を表したいと思います
早速ですが本年は、国
内の実体経済の回復が期
待され、業界環境の改善
への動きも活発化され、
資源循環型社会構築の実
務業界として業界の英知
を結集し、全組合員の積
極的な協力のもとに地域
社会に貢献できるように組
合の前進を図っていきま
いと考えております。
中でも、「安定的継続
可能な組合組織」という
一つのテーマに向かって
進めていきたいと思います
1、青年部の育成 諸先
輩方からのご指導、ご意
見を踏まえたく、自分
たちの考え、将来像と
いったビジョンを積極的
に発表かつ行動に移して
いただき、将来こうなる
であろうという目標設定
を築き上げて欲しいと思
います。この個々の考え
が将来一つに集結し、大
きな力となり組合組織の
今後の礎となるよう期待
したいと思います。
2、組合員の加入促進
去年までの景気の低迷、
資源物の発生減少、組合
員の高齢化などにより年々
組合員数が減少しており
ます。このことから組合
としても、新規組合員の
勧誘、世代交代の相談、
有意義な情報発信情報交
換等、魅力ある事業に役
立つ組合組織を確立して
いきたいと思っております。
3、埼玉県内における組
合組織の強化 各自治体
における組合活動は、単
協ごとの運営となってい
る現状から埼資協に未加
入組合にも活動参加を呼
び掛け、連合会形成を視
野において組織強化を図
りたいと思っております。これ
には時間もかかることで

報告書提出までが信頼性です リ化証の円滑な運用にご協力を

利用頂きましてありがと
うございます。
リ化証の利用状況です
が、左側の表にご購入頂
いております都道府県と
返却があった都道府県を
掲載しております。
ご使用した日付にもよ
りますが、半数以上が返
却されておられません。
リ化証を使用した場合
K票を購入した組合に速
やかに提出することにな
っております。
報告書提出までがリ化
証の正しい使用方法です。
正しい使い方が信頼性を
高める唯一の道であり、
ひいては使用者本人の信
用に繋がります。
また、販売を代行して
頂いております一次審査
組合様におきましても、
日資連事務局に集計報告
されていない組合様は、
毎月未締めにて、日資連
に利用状況をご報告頂き
ますようお願い致します。
リサイクル化証明書は
信頼の証です。正しい
運用をお願い致します。

第41回日資連全国大会 近畿大会のお知らせ

来る7月26日(金)、午後2時より京都
東急ホテル葵の間において、第41回日
資連全国大会・近畿大会を開催いたし
ます。
今回の記念講演では、大徳寺黄梅院・
小林太玄和尚を講師にお招きします。
多くの皆様のご参加をお待ちしており
ます。詳しくは事務局までお問い合わせ
ください。

平成24年度リサイクル化証明書販売・使用報告集計

都道府県	平成24年 販売枚数 枚	金属類					計		使用 報告枚数 枚
		kg	kg	kg	kg	kg	本	kg	
青森県	16000	2,120.0						2,120.0	2
岩手県		0.0						0.0	0
宮城県		5,020.0						5,020.0	7
秋田県		36,327.0						36,327.0	45
山形県		13,027.0		2,040.0				15,067.0	28
福島県	1,996.0						1,996.0	11	
茨城県	250								
栃木県	1000	1,535,157.6	945,887.0			84,490.0	3910	2,565,534.6	3910
群馬県		1,445,958.0	2,728,371.0					4,174,329.0	3862
埼玉県	3000	574,426.0	767,954.0			1,984,420.0		3,326,800.0	1487
千葉県		41,974.8	191,360.5					233,335.3	631
東京都	6000	239,926.0	41,521,309.0	2,515.0		6,879.0		41,770,629.0	4454
神奈川県	8000	878,399.0	15,406.0					893,805.0	1303
新潟県			2,170.0					2,170.0	6
富山県	1250								
福井県	1000								
長野県		9,843.0	44,042.0					53,885.0	73
愛知県	500	97,320.0	1,986.0					99,306.0	55
三重県		34,823.0	530,834.5	1,060.0		906.5		567,624.0	1171
滋賀県		2,521.0						2,521.0	8
京都府	50								
大阪府	1250	298,110.0	437,420.0					735,530.0	928
兵庫県	75								2
岡山県	375	122,152.0	110,832.0	104,280.0		650.0	241	337,914.0	241
広島県		28,140.0						28,140.0	13
徳島県	1000	93,954.0	87,327.0					181,281.0	159
福岡県		21,330.0						21,330.0	47
熊本県	1000								
宮崎県	250	1,307.0	4,592.9					5,899.9	93
鹿児島県		105.0	481.7					586.7	10
合計	41,000	5,483,936.4	47,392,013.6	107,855.0	2,077,345.5	4,151	55,061,150.5	41,511	16,131

理事会を京都で開催

近畿地区の組合員と意見交換など

日資連は今年、初めての試みとして理事会を地方開催した。

まだ夜は幾分寒さが残る3月16日、場所は今年全国大会を予定している京都である。

関西連では毎年、拡大理事会と称し一都六県持ち回りで各県開催の理事会が開かれていた。日資連でも全国大会は各地で開催され、昨年は宮城県仙台市、一昨年は沖縄県といった具合だ。が、これまで理事会は東京の日資連本部のみ(ごく一部の例外はあったが)開催されてきた。

常々、理事会の出席者の限定化や出席地方の偏りが問題であり、解消策を検討していたところに、今年の全国大会を近畿地区で開くことになり、会場の下見がてら「一度理事会を地方で開いて、普段から理事会の出席者近畿地区の役員の方々のご理解もあり実現した。理事の出席数を如何にして規定に近づけられるかが、これからの日資連にとって必要であることは、近年、色々な場面で意思決定の迅速化が求められる中、明らかである。今回の試みは結果として期待を下回ったが、一度で諦めてはいられないし、まだ試す価値のある方法も残っている。長年の課題を解決するためには、今までやってこなかった事が有効であると考えられる一面もある。目標をしっかりと決めたならば、硬直した考え方を打ち破る事に躊躇せず、失敗を恐れず、あらゆる手段を取るべきである」と考える。

青年部復興支援にも役立て

「日資連ピンバッチ」を作成

現在、日資連青年部ではピンバッチ及び青年部活動DVDの作成に取り組みんでいます。ピンバッチについては、5月下旬に完成し、各地の青年部員に順次販売を開始しております。

ピンバッチは作成にあたり日資連青年部員同士の結束力を高めるアイテムだけではなく、収益金を東日本大震災の復興支援活動に役立てたいと考え、青年部のみならず、広く日資連会員全体に使えるデザインで考えました。

皆様の購入ご協力を是非ともよろしくお願いいたします。(ご注文・お問い合わせにつきましては日資連事務局03-3263-9101までご連絡下さい。)

青年部活動DVDは日頃の青年部活動や事業を紹介し、青年部未発達組合や未加入組合への加入促進に役立てるために作成しております。また、現役の青年部員も多数出演し、活気溢れる内容となっております。できるだけ多くの皆様にご覧いただき、各都道府県の青年部員が加入して頂くことを目指して活用して頂くよう、ご協力の程よろしくお願いいたします。

販売価格 1個2000円(送料別)、サイズ 16mm×15mm(約2.1g)、材質 ニッケルメッキ ※プラスチックケース入り



「専ら物」の扱いなど

横須賀組合が環境省に要望書

日資連では去る4月9日、環境省で横須賀市資源回収協同組合の藤田和秀理事長が秋野公造環境大臣政務官へ要望書を提出する場に同席した。

藤田和秀理事長は、要望として、「専ら物」古紙類・金属類・古繊維類・びんカレット類の4品目について、回収、選別することでの再生資源物としての価値を高め販売を行う事業の過程で、回収する再生資源物そのものは同質のものであっても引き取り時の条件によって廃棄物と判断する自治体がある。

再生資源物は、原料として流通しており最終的には製品となって世に出てくるものであり、利用価値のない廃棄物とは根本的に性質の異なるものである。全国の自治体で「専ら物」は資源であるので廃棄物処理法の適用

編集後記

たばこ。健康に悪く、火の始末も心配。何より「クサイ」らしい。いいことはない。十分に? 理由は? 私たち煙草吸いは「精神安定のため」と言い訳を繰り返して今日も、不良高校生に戻ったこと、建物のどこかにある筈の喫煙所を目指す。先日、小型家電講演会時も、囲われた空間に籠もり狼煙を上げた。が、この日は「煙草を吸ってばっかりは「煙草を吸っていて良かった」と、ほんの少し思えた。

当日講師の経産省産業技術環境局リサイクル推進課総括補佐の宮部氏が、そこにいた。お互いの不幸な(煙草にまつわる)共通体験から一気には距離が縮まる。一般の仕事や生活で国家・地方を問わず、公務員なる人種と接点が少なく、お上意識を払拭出来ない私は、勝手に苦手意識を持っていない分だが、今、我々煙草吸い族には茫漠たる淡い連帯意識が芽生えたのではないかと一方向的に親近感を覚え、不幸自慢を展開する。氏も負けじと応戦。だからどうしたと言われれば、それまでだが、私は、ここに一縷の望みを託し、この糸を切らさぬよう、更に厳しくなる喫煙環境に抗して吸い続ける為に一層の



今後の行事予定

◎理事会	7月20日(土)午後1時~	日資連事務所
●プロジェクト-L	7月20日(土)午後15時30分~	日資連事務所
●認定審査委員会	7月20日(土)午後15時~	日資連事務所
◎全国大会	7月26日(金)午後14時~	京都東急ホテル 葵の間にて

節度とマナーを心掛けよう。

栃木県リサイクル協同組合連合会
 会長 星本昭次
 〒320-0816 栃木県宇都宮市天神 2-7-18
 TEL 028(634)5930・FAX 028(666)8513

群馬県再生資源事業協同組合連合会
 会長 上岡克己
 〒371-0857 群馬県前橋市高井町 1-26-3
 TEL 0272(53)7291・FAX 0272(54)6221

埼玉県再生資源事業協同組合
 理事長 福田寛榮
 〒330-0834 埼玉県さいたま市大宮区天沼町 2-156-1
 エクセルハイム108
 TEL 048(607)7401・FAX 048(607)7402

千葉県資源リサイクル事業協同組合連合会
 会長 飯田俊夫
 〒260-0015 千葉県千葉市中央区富士見 2-22-6
 富士ビル 5階A号室
 TEL 043(227)8273・FAX 043(227)2033

東京都資源回収事業協同組合
 理事長 吉浦高志
 〒101-0061 東京都千代田区三崎町 2-21-1
 TEL 03(3263)3676・FAX 03(3263)3679

神奈川県資源回収商業協同組合
 理事長 藤田和秀
 〒220-0023 神奈川県横浜市西区平沼 1-40-17
 モンテパルデ 横浜 311号室
 TEL 045(313)6100・FAX 045(313)6161

奈良県資源回収事業協同組合
 理事長 森田元嗣
 〒635-0095 奈良県大和高田市大 106-2
 経済会館 6階
 TEL 0745(23)2266・FAX 0745(23)2285

新宿区リサイクル事業協同組合
 理事長 佐藤一郎
 〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-12-12
 榊小池商店 本社内
 TEL 03(5363)3196・FAX 03(5363)3197

日本再生資源事業協同組合連合会
 広告掲載のお願い!
 本紙への掲載広告を募集しています。詳しくは事務局にお尋ねください。